

大館市教育委員会会議録

日 時 平成30年1月24日（水）
午後1時00分
場 所 大館市立下川沿公民館 会議室

大館市教育委員会

大館市教育委員会会議録

1 開会の日時 及び場所	日 時	平成30年1月24日(水) 午後1時00分		
	場 所	大館市立下川沿公民館 会議室		
2 出席委員の氏名(4名)				
教育長職務代理者	山 田 和 人	委 員	根 田 穂美子	
委 員	清 野 克 子	委 員	小笠原 正 卓	
3 欠席委員の氏名(なし)				
委 員				
4 委員以外の出席者職氏名				
	なし			
5 出席した職員の職氏名				
教 育 長	高 橋 善 之	教育総務課長補佐	成 田 浩 司	
教 育 次 長	佐々木 修	学校教育課長補佐	小松原 功 秀	
教育総務課長	加 賀 安 長	学校教育課長補佐	伊多波 卓 美	
学校教育課長	山 本 多鶴子	生涯学習課長補佐	小 玉 均	
教育研究所長	貝 森 逸 子	歴史文化課長補佐	大 井 和 博	
生涯学習課長	一 関 留美子	スポーツ振興課長補佐	佐 藤 税	
歴史文化課長	若 宮 司	生涯学習課生涯学習係長	佐 藤 正 平	
スポーツ振興課長	菅 原 悟	教育総務課総務係長	関 智 仁	
6 会議録署名委員 教育長・小笠原委員				
7 会議書記 教育総務課 総務係長 関 智 仁				
8 教育長報告				
(1)	各種受賞について			
9 議 事				
協議第1号	平成29年度3月補正歳出予算要求の主な概要について			
10 その他				
(1)	県指定文化財について			
(2)	ネーミングライツパートナーについて			
(3)	ドームコンサートについて			
(4)	博報ワークショップ in 久山町について			

議 事 の 経 過	
	開会 午後1時00分
教育長	ただ今より教育委員会会議を始めます。 本日の会議録署名委員は、小笠原委員にお願いします。
教育長	会議録の承認についてです。 12月26日分がありますが、いかがだったでしょうか。何かお気づきの点がありましたでしょうか。
委員	私の発言で1ページ下から3行目の「評価されたということは」を「評価されたということで」に、1ページ最後の行の「統合後に入学した」を「今年度、統合後に入学した」に、同じ行の「今年卒業証書」を「卒業証書」に、2ページ1行目の「生徒たちが」を「生徒たちは」に、2ページ3行目の「姿を見せて下さっている」を「姿に反映されている」に、6ページ下から4行目の「出来ずにいたこと」を「出来ずにいた学校」に修正願います。
教育長	他にありませんか。
全委員	無し。
教育長	「無し」とのことですので、修正の上、承認とさせていただきます。
教育長	それでは、最初に報告事項をお願いします。報告の(1)についてお願いします。
学校教育課長	(「各種受賞について」を、資料により報告)
教育長	この報告について、質問やご意見等ありませんか。
委員	感想ですが、ふるさとキャリア教育7年目ということで、下川沿中学校と川崎教諭にとっては、これまで地道に積み重ねてこられた実践とその成果への大きな評価だったと思います。私どもにとっても大きな喜びでありますし、ご労苦をたたえたいと思います。この喜びに大きく係わることをお話しいたします。先日の1月11日に開催された第29回大館市教職員研究実践発表会についてです。ご承知のように今年度はこれまで以上に発表者、発表題ともに多彩であり多様であったというのが第一感想です。一覧表をいただいた時「これはすごい」という言葉が出てしまいました。多彩、多様と申しますのは、教育の現場と行政の担当課から発表があったからです。これは今まで無かったことだと思います。また、教育の現場と申しましたが、保育園、小中学校、県立高等学校、秋田職業能力開発短期大学校から、しかも保育士さん、

	<p>栄養士さん、教諭、校長先生もということで、これもまた大きな喜びと驚きでありました。それから、行政からは大館市産業部商工課の方や、県からは地域振興局の方が北教育事務所と連携して行った産業祭での小・中学生向け企業博覧会についてのご紹介でした。これも今までになかったことだと思います。県と市の取り組みを教員に知ってほしいということでの積極的な情報提供でした。教育の現場からは、教科指導と学級経営、生徒指導、道徳教育、外国語活動、食育、地域との安全安心の連携、そして行政の方からは本市における全国的にみても大きな特徴である取り組みの子どもハローワークについて、その充実した展開にこれから先に繋がっていくのではないかと思わせる情報提供でした。一覧表を拝見しただけで大館市の教育の今が、その概要を一覧できるプログラムだと思いました。全体会では、未来に向けて進化を続ける大館の教育ということで、学校教育課長と教育長おふたりから報告と今後の展望、構想が話されました。今後先生たちが自信を持って実践を重ねていく上での指針となる、温かく力強いメッセージであったと思います。これまでの成果、課題を踏まえ次へのステップを皆さんで共有し、新年度に向けて目指す方向を確認できた最良の時間であったと思います。戌年の戌というのは作物を刈り取って、まとめて収穫するという意味もあるそうです。挑戦したこと、積み上げてきたことそれが実を結び、これからの輝きとなって収穫を迎える、今年はそんな意味もあるのではと思っています。明るい将来が見えるような実践発表会であったと思います。そのような流れの中で、この二つの受賞は、大きな全国的評価をいただいたわけですから、大きな力になったと改めて思います。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。他に何かありますか。</p>
委員	<p>私も参加させていただき、いろいろなお話を伺うことができました。2回目ですが去年にも増して先生たちの発表に感銘を受けました。これが実際に、我々が育てている子どもに施されている教育であるということが本当にありがたく思えました。懇親会でたまたま隣の席が地域振興局の方でした。彼らも大館の教育に対して非常に熱いものを持っていて、「我々はこういうことをやりたいんだ」ということを熱く語っていたことが嬉しかったです。教育委員会だけではなく、市長部局や県の出先機関が大館の教育に向いているということは本当にありがたいことですので、これからもさらなる発展を期待したいと思います。我々もいろいろ力を尽くしていきたいと思っています。</p>
教育長	<p>他にありますか。</p>
委員	<p>各教室に入ると引き込まれてしまい、その場を抜けるのがもったいない、そのような思いで先生たちの素晴らしい発表を聞かせていただきました。成章中学校の防災についての発表で、地域との連携の中で子どもたちが生まれ、その地域を代表する子どもたちの心が発表の中にとってもよく表れていて、大変感動しました。その他にも感動する発表がたくさんありました。また、最</p>

	<p>後の教育長のお話では、ひとつひとつの言葉が心の中に入ってきて、感動する時間をたくさんいただきました。ありがとうございました。それから、北の造形の発表を拝見し、早速、南小学校に伺い冊子を買って求めてきました。大変素晴らしいものでした。ひとつひとつの作品もですが、先生たちの教育のあり方、見ることの大切さ、そして感じることの大切さ、それを重点的に子どもたちに押し付けるのではなく、自然に子どもたちが授業の中で育まれていく、それがひとつひとつの作品に非常によく表れていました。同じものを描いていてもその表現は全部違います。そんな子どもたちの個性を大事にする先生たちの授業を見て本当に感心いたしました。半世紀も続けてこられたということですが、続けることは本当に大変です。先生たちが伝え合いながら子どもたちを育てていく、先生たちの目に見えない努力が子どもたちから表れるというようなことを感じながら、北の造形を拝見しました。大館の教育は素晴らしいレベルですが、子どもたちのアートの感性も同じように育まれているのだということを感じさせていただいた冊子でした。続けてこられた先生たちに感謝の気持ちでいっぱいです。</p>
教育長	<p>他にありますか。</p>
委員	<p>私が申し上げたいのは、研修会のやり方が大変上手だということです。どうということかという、いろいろな方たちに情報の発信をしようとしている、その意図がはっきりと出ている研修会であったということです。明確な意図があることにとっても感心しています。以前はどちらかという教師のみの会合という色合いが強かったように感じていましたが、最近はそうではなく、教育長がおっしゃっているように教育の産業化という観点からしても、教育はどうやったら情報発信できるのだろうか、どうやったら認知度を高めていけるのだろうかという観点からすれば、やり方が非常に前向きであるし、認知度、周知度をどんどん高めていくという点で非常にいい在り方だと思います。人をどんどん巻き込んでいくというスタイルが、今回からさらにレベルアップしてきているように感じました。戦略的にはかなり進んだやり方だという評価をさせていただきたいと思います。しかしその反面、教育には光の当たる部分と当たらない部分があるということを研修会の懇親会に参加させていただき、いろいろな先生たちとお話しさせていただく中で感じました。それを感じられたのも逆に言うと、懇親会がコミュニケーションの中でできているからだと思います。現場の話が率直に私たちに入ってきた、つまり先生たちが現場の言葉で素直に情報交換し合っているということだと思います。そしてそれがコミュニケーションの成り立ちの原点だと思います。そのようなことからとても力強い研修会の在り方だと年々感じています。是非、このような形でどんどん人を取り込みながら情報発信をしていく、その中で関係者が素の言葉で自分の教育論を議論していく環境を強くさせていただきたいと思いますし、このような会合の在り方をどんどん発信していければいいと思います。</p>

教育長	<p>ありがとうございます。今、委員の皆さまからお話しがありましたとおり、発表が多様で多彩でした。聞いて下さる方も教育産業常任委員会のすべての委員の皆さんが来て下さいました。また、国会議員の方が来て下さったことは初めてのことです。委員がおっしゃったように、どんどん人や組織と繋がっていく、そのことによって今までに無かった新しい価値やエネルギーが生まれていくという部分がこの教育実践発表会で得られたところですし、そのためにはベクトルが内から外へ、と同時に現在から未来へというベクトルでなければならないと感じた次第です。いろいろな成果があり、これからの部分も見えてきた発表会でした。皆様、大変ありがとうございました。</p>
教育長	<p>他に何かありませんか。</p> <p>(「無し」の声あり。)</p>
教育長	<p>ないようなので引き続き議事に移ります。それでは、協議第1号について、事務局より説明をお願いします。</p>
各課・館長	<p>(協議第1号「平成29年度3月補正歳出予算要求の主な概要について」を、資料により説明)</p>
教育長	<p>協議第1号について、質問やご意見等ありませんか。</p>
教育長	<p>燃料費の値上がりとのことですが、すべての小中学校で灯油代は1カ月当たりどれくらい掛かっているのでしょうか。</p>
学校教育課長 補佐	<p>月によって違いますが、小学校の12月は426万円です。今後は1カ月当たり400万円前後で推移すると見込んでいます。中学校は308万円です。今後は1カ月当たり300万円前後で推移すると見込んでいます。</p>
教育長	<p>月に700万円から800万円ということですね。</p>
学校教育課長 補佐	<p>はい。そうです。12月にも一度補正しましたが、その後また値上がりしましたので3月も補正の要求をしました。</p>
教育長	<p>分かりました。</p>
教育長	<p>他に何かありませんか。</p>
委員	<p>教育総務課にお伺いします。市民文化会館についてです。壁については大体どれくらい工事が完了しているのでしょうか。</p>

教育総務課長	1期工事で行っている外壁のタイル部分はすべて完了しています。外壁全体からみると65パーセントから70パーセントです。残りの30パーセントはタイルではなく吹き付けした壁です。そちらは来年度の予定です。
委員	分かりました。
教育長	他に何かありませんか。 （「無し」の声あり。）
教育長	質疑等無いようですので、協議第1号を承認してよろしいですか。
全委員	異議なし。
教育長	協議第1号を承認します。
教育長	その他に入ります。何かありましたら発言願います。
歴史文化課長	（「県指定文化財について」を、口頭により説明）
スポーツ振興課長	（「ネーミングライツパートナーについて」を、口頭により説明）
教育総務課長	（「ドームコンサートについて」を、口頭により説明）
高橋教育長	（「博報ワークショップ in 久山町について」を、資料により説明）
高橋教育長	他に何かありませんか。
教育総務課長	（来月の開催日程について）
教育長	ほかに何かありませんか。 （「無し」の声あり。）
教育長	それでは、これをもちまして教育委員会会議を終了いたします。
会議終了時刻 午後2時00分	